戸高新聞

發行所
戸屋市宮川町
兵庫縣立
戸屋高等學校出版部

偉大な功績を殘して
前途に祝福あれ
三年生卒業す

終戦後の多彩な三ケ年を戸高に於て或いは學び或いは自治活動に活躍して、戸高の爲に盡して來た現三年生を、いよいよ上級學校へ又社會へ送り出す時となった。花匂ふ四月、胸をふくらませて入學してから三年、卒業生も思い出深いものであろう。そして今再び夢を抱いて卒業證書を手に戸高の門を出でんとする時強い惜別の念にかられて戸高に校舎を顧すにはいられないのは誰しも禁じ得ないところ滲む涙をじっと噛みしめている人も多いであろう。「光陰矢の如し」とは月並な言葉ながら、今更しみじみと感ぜられるのも人の情である。三年生に對する親身な教導を謝し併せて將來の多幸を祈るのが、二年生の務めであり、更に三年生が下級生達の氣持を汲んで今後も戸高への援助を惜しまれん事をお願いしたい。

諸君、御卒業おめでとう。諸君は學區制による初めて卒業生である。この意味で社會は、諸君が嘗んだ學園生活の在り方に注目したと同様今後における諸君の成長をも興味をもって眺めている。

諸君、自重自愛せよ。

諸君の若い生命が、學區制の道線に結ばれてこゝに三年、最も樂しく、最も感激深かるべき年頃を、新教育の構想に基く學園において、未開の分野を開拓しつゝ生活して來たことは、極めて意義ある事である。そこには幾多の迷いも、惱みもあったことだろう。しかしその迷いから解明への喜び、惱みから創造への喜び等も、いろいろと体驗したことだろう。この貴重な体驗を、今後に生かすことを希望する。

諸君の戸高生活は、永きは六年、短きは三年。その歳月はすいぶん受難の生活であった終戦直後社會の混迷にもまれつゝ、教室を求めて放浪した陰鬱な生活であった。しかしその間でも、諸君の伸びてやまぬ生命、明るさを求めて阻せぬ精神は、よく悪條件を克服して環境を生かし扱いて來た。そしてその頃に戸高醸成の基礎を築いた。その意味から云えば、この試練こそ諸君にとって、むしろ嬉いものであったと云える。

諸君は今、戸高學園にしっかりとした基礎を築き、大いなる足跡を殘して去って行く送る者の感謝と祝福とを、こゝろよく受けつゝ朗らかに去って行き給へ、私は在校生と共にこの感激を以て諸君を送るものであるが、更に今後一、仕事に精根を打ちこめ。天才とは努力である。この言葉の持つ眞意を味得する人は幸福である。複雑な社會機構において、たとえどんな仕事の、どんな部門にせよ、そのための眞意を發揮する人となる。かゝる人を社會が重要視して、努力が苦痛でなくなる。そして何時か場所をつくることが必要である。即ち趣味を發揮して、ゆとりある人となるよう心掛けることが將來人物の大をなす所以である。趣味や道楽にもいろいろあり、碁子を泣かせるような道楽は禁物であるが、教養人にふさわしい、そして家庭生活に調和する道楽を持つことは結構である。そこに知らず知らず人柄が磨かれてゆき、生命の長寿が育まれる。

二、趣味を發揮してゆとりある人となれ。

魂の眠い場所をつくることが必要である。即ち趣味を發揮して精神を存續して、ゆとりある人となるよう心掛けることが將來人物の大をなす所以である。趣味や道楽にもいろいろあり、碁子を泣かせるような道楽は禁物であるが、教養人にふさわしい、そして家庭生活に調和する道楽を持つことは結構である。そこに知らず知らず人柄が磨かれてゆき、生命の長寿が育まれる。

三、學園の自治活動に參加せよ。

自治活動を通じて、人間的に成長することが大切であるが、それには、その仕事に精神を打ちこんで行くことだ。そうすると何時か、その道に樂しみを感見して、努力が苦痛でなくなる。そして何時か場所をつくることが必要である。即ち趣味を發揮して精神を存續して、ゆとりある人となる。かゝる人を社會が重要視して、努力が苦痛でなくなる。そして何時か場所をつくることが必要である。即ち趣味を發揮して精神を存續して、ゆとりある人となるよう心掛けることが將來人物の大をなす所以である。趣味や道楽にもいろいろあり、碁子を泣かせるような道楽は禁物であるが、教養人にふさわしい、そして家庭生活に調和する道楽を持つことは結構である。そこに知らず知らず人柄が磨かれてゆき、生命の長寿が育まれる。

一、學園の自治活動に參加せよ。

自治活動を通じて、人間的に成長することが大切であるが、それには、その仕事に精神を打ちこんで行くことだ。そうすると何時か、その道に樂しみを感見して、努力が苦痛でなくなる。そして何時か場所をつくることが必要である。即ち趣味を發揮して精神を存續して、ゆとりある人となる。かゝる人を社會が重要視して、努力が苦痛でなくなる。そして何時か場所をつくることが必要である。即ち趣味を發揮して精神を存續して、ゆとりある人となる。

二、趣味を發揮してゆとりある人となれ。

魂の眠い場所をつくることが必要である。即ち趣味を發揮して精神を存續して、ゆとりある人となる。

前に進べたこと、同時に、

二、趣味を發揮してゆとりある人となれ。

魂の眠い場所をつくることが必要である。即ち趣味を發揮して精神を存續して、ゆとりある人となる。

三、學園の自治活動に參加せよ。

自治活動を通じて、人間的に成長することが大切であるが、それには、その仕事に精神を打ちこんで行くことだ。そうすると何時か、その道に樂しみを感見して、努力が苦痛でなくなる。そして何時か場所をつくることが必要である。即ち趣味を發揮して精神を存續して、ゆとりある人となる。かゝる人を社會が重要視して、努力が苦痛でなくなる。そして何時か

成功するか中學區制
無風狀態の本校區
學區制改革成る

高校學區制改革をめぐつて縣、神戸市兩教育委員會で紛爭を續けてきたが、結局縣の主張する「中學區制」におちついた。では、何故「小學區制」から「中學區制」に改める必要があつたのだろうか。その實情を探ぐつてみた。

もと〳〵學區制を施くという事は教委會法第五十四條に「都道府縣委員會は、高等學校の教育の普及、及びその機會均等を圖る爲、その所轄の地域を數個の通學區域に分ける但し必要のある場合には生徒の就學につきこれを調整することが出來る」と規定されているのである。小學區制が實施されたのが、昭和二十三年それ以來四ケ年續いて來たのであるが、今度の改革は、小學區制の欠點を是正し、立派な學區制を確立することにある。小學區制が生徒の自由な學校選擇を全く認めない點につき各方面からの批判が起こり、その改正が要望されていた。そこで縣としては、改革の必要があると認め、中學區制を提案したのである。縣教委は、小學區制が好ましくないものとして小學區制は學校差を無くし、教育の機會均等を計るものであるが、しかし小學區制實施以來學校差の均等を計る爲、いろ〳〵手段をとつてきたが、實施四ケ年後も學校差はあくまでも現存しなければならない。そこで現在の實際問題として學校差を無くすることは出來ない。そこに「潜行入學」いわゆる「モグリ」が行われる。小學區制はもともと出來るだけ採用する方針なので學校によつては隣接地域の教育の普及、及びその機會均等を圖る爲、その所轄の地域を數個の通學區域に分ける但し必要のある場合には生徒の就學につきこれを調整することは、禍野に限定されて變化がない。父兄友團係も範圍がせまく、教育上好ましくないという點をあげ、又小學區制は一校に限定してしまつている爲全然學校の自由選擇が出來ず從つて希望する學校へ入學することが出來ない。だから密留等の方法で巧みに「潜行入學」が行われこれが年々增加してくるということは結局小學區制が適當でないという事を物語つているのである。又今度の改革により入試地獄が再來するのではないかと心配されているが今後も從來の小學區内の高校を第一志望に選ぶことを勧めており、欠員の時、第二志望を採ることになつている（現在の所五〇％ずつ）だから優秀學校を志望しない者は從來より合格し易くなり、又優秀學校志望者は相當成績の良いものでなければならない。しかるに多少の疑惑はあつてもそれくらいの切磋琢磨はあつてもよいのではなかろうか、むしろあつて然るべきである。というのが縣教委の見解である。これに對して神戸市が眞正面から反對したのは、結局縣立と市立の高校との間により大きい差のつくことを恐れているのである。

他の校區では此の様に「入試地獄再來」という言葉にあわてているようであるが、全く無風狀態にあるのが本校の校區である。何故本校區は、もとのまゝの小學區制なのだろうか、蘆屋市教育委會を訪れてその眞相を聞いて見た。

蘆屋市教委としては、この學區制の改革に關する意見を聞く爲、度々數多くの人々を招待して會を催したが無關心なのかあまり出席する人がなかつた。しかし大体の市民の聲というものが、蘆高は地元であるから、蘆屋市の子弟をなるべく多く蘆高に入學させたい。又蘆高を蘆屋市のものとしてのはして行きたいという理由から從來通りの小學區制維持をいうのが飽然多かつたそこで、市教委としても、蘆屋市民の教育を目標としている爲縣教委に對して、現狀維持（小學區制）を申し入れた爲、本校はもとのままになつたわけである。

というのが大体の要旨であるが、市民の小學區制維持者の大多數は、單なる郷土愛からでたものであつて、眞に學生の立場になり又、眞に學區制というものを理解した上での意見でないという事が推測される。又縣教委が縣民のうち一萬名に對しての世論調査を行つたが、蘆屋市民全体の世論として取り扱つたという事はきわめて危險な事であり、不當な方法であると云われても致し方がないであろう。この様なわけで本校區はもとのままなのであるが、此の無風狀態で包まれた所の中學校は、今度の學區制改革に關してどの様に考えているのだろうか、H中學校に於ては校長に聞くと「中學區制は絶對反對だ。中學區制は新教育を破壞するものである」と現狀維持を主張する校長の八割以上が小學區制支持であるという。しかしこの八割以上というのは、校長の影響が大きく、父、小學區制であれば栄に入學出來るとの安易な考えからきたものではないかと思われる。父S中學校では市内の志願者からすれば、東神戸からの志願者は當然神戸區高校に入學すべきであつて上級進學の機會均等を阻害するものであろう。父、阪神間を一つの學區にまとめて志願者は、その地區の學校に入學せしめ、殘余は適宜調整すれば、或る程度學校差が稀薄になり、進學の機會均等化がはかられるのではないだろうかという樣な聲がある。

とにかくこの改革により、高校間の差が一層はなはだしくなるのではないかと考えられる。そこで我々は、より一層の努力をし他校に劣らぬ、立派な傳統を作らねばならぬことを覚悟せねばならない、と同時に父、内的な充實をもはかる必要があろう。

飯野校長談　學區制に關する考えは、二つに分かれる。それは一つは、一般論としての私の考えと、蘆屋高等學校としての私の考えである。私の考えは、中學區制を絶對に支持する。何故なら自由平等という民主々義の根本から考えると小學區制というものは、自由というものを全然認めていない。そこで、現狀維持を主張する。

三年生擔任アンケート

1、一番感銘の深かつた事。
2、一番バツの悪かつた事。
3、卒業生に對する希望。

小川先生（C組擔任） 1、美化部の員が早朝から箒片手に校庭の掃除をしていた事。2、体育祭で借物競爭にあてられておびりから走つた事。3、明るい照らされた道を歩んでほしい。そして、もし迷子になつたら、素直にスタートまでもどつてほしい。道は四通八達、決して行きづまりはありません。蟲さんの頑張りを忘れぬように。

三木先生（E） 1、思い出ともなれば苦惱銘深し。2、バツの悪かつた事は忘れる事にしています。3、卒業生各自が僕に希望して貰いたいことは何でも希望してあげます。もし神や仏を連れて來てくれたら僕の希望が達成される樣よくお願いもしてあげます。

金坂先生（D） 1、記念祭のフォークダンス。2、余りに多すぎてどれが一番分りかねます。3、とにかく、どこかに入つて呉れる事。但し病院と刑務所とは御遠慮願い度し。

野村先生（G） 1、A、私の二年間。全力をたたきこんだ二年間。2、下手な講義をした時にわかつていないのにわかつた顔をして聞いている皆の顔をまともに見た時。3、高い知性と明るい微笑を忘れないで。GOING NT WAY。

津田先生（B） 1、第六回國体登山部門縣選抜で本校山岳部が縣下第一位の成績發表を聞いた時。2、放課後各ホームルームを廻り當番の出來の悪い所をきつく叱つた後で三Bのホームルームに行き當番をしないで帰つてしまつている事を見た時。3、クラーク博士の言葉ですが大志を抱くこと。そして達成の爲に勇往邁進してほしい。

野村先生（G） 1、A、私のホームルーム五十名の青年年頃のお嬢さん方の個性の美しさと豐かさ。そして雜物ぞろいの中で過したこの一年。B、授業以外の雑用の多かつた事——勤續十六年中、No.1。C、一人で六七〇名の書道選擇者の一年間指導の死闘D、別府地獄めぐり船の非常ベガールの美聲。E、一九五一年夏の野球大會の杉谷のホーマー。2、九州旅行中別府で夜、眞面目な小生の浴衣の袖をPANPAN氏に引つ張られている現場を女生徒に見られた時。女生徒もバツの悪い思いをしたに違いない。勿論振り切つて逃げたよ。3、各自の進もうとする方向に勇進してほしい。但し時々は顔を見せたり、たよりをしてほしいものだ。要領よくやる——サボルのでなく計畫的に自己の能力に應じてベストを盡してほしい。

千葉先生（F） 1、蘆高に就任して元氣の良い生徒達に對面した時。但しこれがもう十日程後だったらきつと昭和二十七年の卒業式と書く事でしよう。2、絶えずバツの悪い連續なのでどれが一番か一寸思い出せません。3、男子はますます男らしく女子はますます女らしく。よき個人であると同時に良き世界人になつて下さい。

（順序不同）

送別會行わる

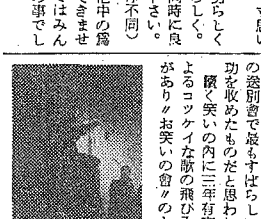
〃蘆高生活は樂しかりき〃

三年生の學年末考査が終つた、二月九日午後より送別會が催された。講堂は文化祭を思い出させるような滿員で、始めに山村會長の「蘆高生の集いの最後の日である」との挨拶があり二A有志による合唱と西田君のピアノ獨奏がそれに續き場内の空氣に和氣を與えつゝ今年最初の試みであるトンチ教室・バイバイゲーム、素人のど自慢に聽衆の耳は傾いた。

中でもトンチ教室の志賀君の「先生」・バイバイゲームの山村君の司會は滿點で今年の送別會で最もすばらしい成功を收めたものだと思われる。

殊に笑いの内に三年有志による コツケイな歌の踊び入りがありゝお笑いの會〃のような感を與えたが、ダンス部の二つのダンスと伊藤蘭君の創作劇「アブレゲールのイースター」によつて、ひきしめられ、多少なりとも感銘の深きものがあつた。

その他音楽部の五、六の合唱があり。最後に全員による校歌合唱亜ぴに〃蛍の光〃で送別會のそれらしき雰囲氣をかもし出し、その力强く、なつかしいメロデーが、校舎の隅々にゆき渡る頃、上野文化部長の閉會の挨拶によつて幕を閉じたのであつた、



の上小學區制に依る平等の教育というものは、現在なお學校差がある限り實現し難い。又過去四年間の實施の結果、他府縣に比して大學入學率が悪い。中學區制實施に依り同程度の學力の者が集まれば教育の能率が良く、一般に英才教育の復活等といわれているが決して然ういうものではない。父蘆屋高校という立場からいえば、ある一つの財源をバックに持つ行政區劃内の中學區制を布くことが望ましいが、蘆屋の場合蘆屋市内に本校しかない爲、現狀で滿足しなければならない。

時事

所謂「台湾政府」との條約について

木下隆義

國際問題に就て解説をするといはいうものの、占領軍が日本政府及天皇の上に位置して日本憲法が完全に施行されていない今日至極に國際情勢を顧る自由を有しない日本人として新聞論調の蒸し返し程度に終る憂いはあるが止むを得ないことである。

所謂「台灣政府」なるものと條約を結ぶため日本全権が門出をしたがこのことは余程慎重にやらないと、アジヤの危機が再び訪れる可能性があることと思われる。というのは今や中國は台灣政府と北京政府の三つに分かれて爭いをしているが、中國の大部分を統治しているのは中共である。その中共は支那大陸の膨大な資源を手中におさめ、現在ともかくにも支配しているのであつて、國民政府は單に台灣の一島だけに逃げ込んだ形であつて、大軍を維持するには他國の援助を受けなければならない程の資源しか支配していない。所が日本は「吉田書簡」なるものによつて、台灣政府と終戦講和を結ぶということにした。台灣しか支配していない台灣政府と條約を結んでも、實際支那大陸で戦爭した日本の講和は果して實際的かどうか甚だ疑わしいものであるといわれている。

將來國民政府が叫んでいるように大陸に侵攻した暁を慎想して條約ともれるのであるが、厄介なことに中ソ同盟條約なるものがあつて、その中に日本及日本と條約を結んでいる國の中の只一國からでも、中共及ソ聯が攻撃を受けたるときは、中ソは共同して戦うということが定められている。

國民政府は台灣の一角から帝本土の奪還をねらつているのであつて、その國民政府と今や我國は條約を結ぶというのであるから、國民政府の軍に中國の内亂としての中共との戦爭は直ちにソ聯の參戦を意味することとなり、我國も攻撃の目標となるのである。

此處に我國が國民政府との條約に最も慎重であり、かつ國民が慎重ならんことを希む所以がある所である。

所で此處に米國の世界政策の一大轉換を思い起さなければならない。終戦後日本憲法が出來た時分の米國は、世界は協調して行けると考えていたらしいが、現今では思想の異なつたものとは絶對に聞單には手を握れないとして、協調するためには飼い子和を守るためには飼えを十分なし、相手の乘ずるすきをなからしめるのだという風に變つて來たのである。世界は今や軍備競爭の最中である、そうしてその軍備の接點はアジヤでは日本列島・フイリピン・沖縄・台灣・佛印・タイ・ビルマ・中央アジア等である。

戦爭は兩陣營の軍備のバランスが破れた時に何時もおきる好むと好まざるにかかわらず日本は防波堤として荒波にまき込まれなければならない。

防波堤とは中の船を安全ならしむるものであつて如何なる場合も波平穏でない限り防波堤自身安らかであることはない。更に複雑なのは、英國が中共を承認し通商していることであつて、國民政府を認めていないのである。米國は中共を否認し國民政府を認めているのであり、アジアの最も大國である印度は又中共を認めている。

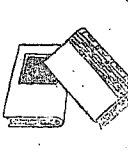
此の様な時に日本がはつきりと中共を否認し國民政府を認めることは中共との關係のみならず、英國、印度等とも複雑化し國民政府と結ぶことが中國の内亂にするすると引きこまれ、世界大戦の糸口となる憂うべき可能性を含んでいるのである。

今や世界は平和のために軍備をするというおそろしい狀態となつたのである。台灣政府との條約がどのように結ばれるかにより戦爭へ巻き込まれる時期が早くなるかが分ると思われる程重要な條約である。日本が戦爭に巻き込まれれば誰が戦爭に行くかゞ問題になる。法律というものが決めるであろう。憲法もそうなれば改まるであろうが然し法律を作り憲法を改正するのは國民である筈だ。むずかしいことになつて來た、然し私は戦爭は嫌だ。

部活動を盛んに
廣い視野と憩の注意
同窓會員との半日

我が蘆高について大いに語り合い、併せて新執行部と同窓會との親睦を計ろうという趣旨の下に、一月二十七日本校作法室で同窓會役員十數名と執行部員七名それに李谷、神保兩先生の出席を得て懇談會の挨拶が始まつて、會は終始和氣藹々と進められ、新執行部はずらりと並んだ同窓會側の質疑にやや戸惑され氣味ではあつたが、お互にその希望を交換し合つた。特に同窓會の要請には母校愛のあふれた有益なものが多く、時に亜近亂れている風紀問題に關しては、理想論と現實論とが出て活潑な論議が行なわれた。その他部活動の盛義は蘆高の盛衰を物語るものであるから各部の活動にはうんと力を入れて欲しいが、部員の選擇には注意して學生らしい眞摯で純潔な部を作りあげるようにという要望と共に、あく迄も學業に力點を置いて内容の充實向上に努めて貰いたいという希望、更に蘆高の美化の爲に美化部の强化、在校生と卒業生と帝に連絡を保とうという縦の關係の緊密化、そして最い親睦を待ち細心の注意を怠らぬように等々絶心ある教示が聞かれた。又、卒業生が社會で一目置かれているのは在校生のお陰だという感謝の言葉もあり、後在校時代の思い出話に花が咲いて名殘り盡きせぬ内五時散會した。

書籍・文房具・雑誌
教科書・参考書
合資會社 大利大江 昭文堂
阪急芦屋川停留所前
電話芦屋三七六〇番



時事問題をめぐる座談會

警むべし復古調

世界情勢に關心

去る二月二日出版部では、「盧高知名?の士十數氏を招いて「學生の見た世界情勢と日本」のテーマで座談會を開いたが、幾多の問題を含むこのテーマをめぐって相當突っ込んだ論議が行われ、口角泡を飛ばす場面さえ見られる等、盧高生の時事問題への關心ならぬ關心が見られた。先ず冒頭社會情勢の大勢的な右旋回と復古調を嘆き且つ非難する發言が續き、日本人たるものの自覺反省を説めば、次いで最近のニュースの正確度に對する疑い、ジャーナリズムの誇張に對する不滿等をさらけ出し。更に根底なしの材料がないが爲、どうしても正しい判斷がされない云う論も出た。又現在世界各國の資本主義は大きな壁に直面しており、何かが劃期的な事件―例えば戦争―が起らなければこの壁が打ち破れそうもないのは資本主義の大きな弱點であり、こゝに修正されるべき余地があるのではないか、日本の經濟事情にしろ戦爭の聲を聞くと景氣があがるではないかという意見、米ソ對立の中に立って日本は常に第三者の立場を執って今迄にない新しい道を進む事が世界平和への二つの方法であり、その點インドを見習うべきだという考察、更に日本人は不和雷同性が強くて權力に阻し易く、（このあたりに到って出席者達の國籍はだんだん不明になって來た）猛悪い點は忘れっぽい事で數年前の原爆の悲慘とそれを引き起した各自の責任をはや忘れてしまっている、日本人は自分の手に握り直して反省する必要があるという說等續々と現われた。話題が再軍備問題に移るとさすがに一同敏感なところを見せ、經濟的に無理、ちやちな軍備は役に立たぬという理論的反對と、兵隊になるのは馬鹿らしい、徴兵されるのは結局僕等だからという感情的反對が織り混り絶對兵隊にはならんと見榮を切る者さえ飛び出し、この問題には世人の愼重で正確な判斷を望む聲が強かった。現政府に關しては中國選擇等に於て獨裁的傾向が強いが、さりとてこれに代るべきよりよい政府は現狀では生れ得ないというのが一致した見方であった。その他人類の精神面に於ける進歩の不足、日本人のぜいたくに對する嘆き、パチンコは頽る日本的遊戯であるという珍說、無抵抗主義の主張等各種各樣の議論百出で、この日ばかりは舌にブレーキがない感じだった。理論或いは事實の裏付けのない空論も多く、學生獨自の立場からという意味で先生には一人も出席して戴かなかった爲散々、言い放題という感があった。學生の強い關心を示した點に於ても、この會は無意義でなかった樣に思われる。

二百円徴收問題

生徒諒承す

今後学校の善処望む

過日標準テスト結核檢診代等一過日の合計二百円の納付書が配られた事は全生徒の知る所であるが、この金額の内容の說明に關して不滿を持つ者が多く二年生では十三日學年大會を開き、學校側でもこれらの不審を一掃する爲め福田先生等が懇切に說明に當られた。しかし何分問題が金錢上の事であるだけに生徒側も納得が行く迄はという氣持で矢次早に質問を發し、說明の先生も生徒の完全な納得を期して愼重に答えられたが、前記の如しかし何分問題が金錢上の事であるだけに生徒側も納得が行く迄はという氣持で矢次早に質問を發し、說明の先生も生徒の完全な納得を期して愼重に答えられたが、前記の如やっぱこし、生徒の方は呑み込むのに難を感じ先生も苦しい立場に立たれる事となった。しかしこの問題の提起者O君が納得したと言明したので、說明は打切られ、後は個別的に說明する事となった。

が、何はともあれ、このような相當の事情のある金額を事前の說明なしに徴收した事は明かに學校側の手落ちと思われる。更に說明の際の不手際は生徒を困惑させ誤解をさえ生むようになったのである。學校側が不要の金錢を徴收する等と思う生徒はいないのであるから、不審を招かぬよう詳細な說明を今後の場合學校へ要望したい。尙ほ先日の說明で大半の生徒は納得がいったようであるが、未だ割り切れないでいる生徒がいる場合には、一層丁寧な說明が必要であろう。

納付書に寄せての挽歌

二年J組　小笠原平八郎

我々は物事を考察批判する事によって其の物事を通めて行けるのである。考察批判なきところに物事の發展は望めない。學生として考察批判し得る範圍に於て物事を考察批判すると云う事は當然の事であられねばならない（學生としては批判する對象は考えなくてはならぬが）一つの物事を正しく判斷し、處理してゆく爲には、緻密な能力と、それらの事項を必要とする、此の必要を十分に滿す事が出來る樣に、現在我々は學んでいると云っても差しつかえあるまい。

を求める事は正しい事と信じている。何人もが納得出來て初めて納付するのが納付者の取って然るべき態度であろう。私は過日の行動に對して敗日の間反省し續けた、私は職場例本校は二回戦の出場權を得此の際に新チーム編成以來、連敗連勝の記錄を殘し、これからの活躍が期待される。

◇サッカー部　於本校

阪神地區大會　於本校

一月十五日

一回戦

本校0（0－1、0－2）3市西宮

校内短信

▽蘆高豆氣象台

昨年十月より科研氣象班十六名（中女五名）によって本校西屋上に於いて、風向、風力、氣温、氣壓、雨量等一應全般にわたり毎日十時、二時、四時の三回觀測を行い、そのデーターを海洋氣象台、艦隊、鹿屋市農業課、時には中央氣象台にまでも提出し非常に重要な貢献をしている。その他海と氣象同好會々より送って來る明日の午前三時の天氣圖と午後六時の觀測を報告する十時半のラジオ放送を基として、毎日西昇降口の氣象班專用の黑板に天氣豫報を出している。今年八月には海洋氣象台の觀測船上に於いて鹿高氣象班を中心に大阪灣の海洋氣象の觀測をしたり、鹿島への一週間程の觀測旅行、海洋氣象台の人を中心に六甲山上での高山觀測等多彩な計畫が組まれている。

▽閑古鳥が鳴く幻燈會

先日二、三回にわたって圖書部主催で幻燈會が圖書館で行われた。その内容は、世界美術全集（ルネッサンス時代）

▽頼もしい美化部

書記局外局の一部として重要な役割を果しているのは美化部であるが、この部は、全く献身的な奉仕をするものであり、部員は犠牲的精神の持主ばかりである。此前の送別會の暮張りや椅子の整列を進んで引受けたのはこの部であり、明、學校の朝の掃除をするというまゝならぬ苦痛を厭わぬものこの美化部である。しかも部員が決して品行方正の動勉型ではない點も、美化部を盧高自治會のユニークな存在たらしめている由縁であり、その高邁な精神は盧高生の學ぶべきところである。只惜しむらくは部の奉仕的性格の爲入部者が少く、より以上の活躍が阻まれている事である。

のものや、外國國立公園、有名都市等の紹介等であった。五時半からという時間が遲すぎるのか、それとも寒いのか參觀者は意外に少く、館内はひっそりとしてあっちにぽつり、こっちにぽつりという淋しさ。しかし今迄の圖書部の活動が單に本の整理出し入れという範圍のせまい事務的なものであったが、此の樣な會を持ったという事は、大變意義深い事であり、又これが圖書部の活動であろう。

送別會☆☆

☆☆舞台裏

○プログラムが進行していよいよのど自慢々より送ってうくチョンとなりそうなところを吾樂部の面々どうにかつないでその間必死に狩り出しをやったとは當事者も苦學するもの

○この日賞品のグリコが大もて、强いてこれを所望する御仁もいるかと思えば、グリコ一箱貰って舞台を下りてからしばらく無念そうに舞台の上を眺めていた御人もある。人間も種々樣々ですな。

○バレー部は相當吉くから練習を始めて當日は大いに張切っていたが、前夜スケーターワルツを練習中水なられ舞台が沈没して肝を冷した例もあり、しかも奥にはピアノがデンと置かれているので、ステップも思うように踏めないとは見ていても氣の毒な話。

○バイバイゲームで五間割顔の功成らず舞台を退いた二某君、〃君はあんな易しい問題がでけへんかったんかゝ君の問題なんか常識やないかゝとくさし合い、擧句の果て兩君口をそろえ、〃僕があの問題やったら五問迄行つとるのになゝとは恐れ入りました。

○練習不足で危ぶまれた劇

○ピアノ部は相當吉くから練習を始めて當日は大いに張切っていたが、前夜スケーターワルツを練習中水なられ舞台が沈没して肝を冷した例もあり、しかも奥にはピアノがデンと置かれているので、ステップも思うように踏めないとは見ていても氣の毒な話。

○バイバイゲームで五間割顔の功成らず舞台を退いた二某君、〃君はあんな易しい問題がでけへんかったんかゝ君の問題なんか常識やないかゝとくさし合い、擧句の果て兩君口をそろえ、〃僕があの問題やったら五問迄行つとるのになゝとは恐れ入りました。

○練習不足で危ぶまれた劇は、安定舞台の上で縱横に改作され、山村君孫は新語逐飯照する仕末、ごまかしが今うまいのには感心したが〃原作者の威信を傷つけるゝと伊藤君のボヤクこと

○同じく劇の遺書を書く場面で、遺書を書こうとした松村君、その時になって所心のペンも紙筆もないのに氣が附き、妙な身振りでごまかして引き上げたが、次に出て行った山村、鈴木の二大根役者がこれまたしやあしやあとして遺書を讀んだ。結局各所痛したのは他のアクターだけだが、これな遺書なら全く世話が焼けませんね。

○アダナ公論。東京都立上野高校ではアダナは親密感があってようしいと、クラスの名前を擔て敎師のアダナで呼んでいる。「マンモス組」「カエル組」等、さすが動物類が多い。これもやはり上野動物園に近い爲ですかな。

○明日でも遅くはない。若松高校の一年某組、母校愛のあらわれか、毎日人力で廊下を磨いているとの事、さて盧高の皆さまも少し見習っては？明日からでも遅くはありますまい。（牛野高校）

○綴鑑等代。姫高新役員の顔ぶれは委員長初め六名中四名が綴鑑部の御歴々とは、今更ながらこの部の特質を再認識させられますね。

○うらやましい話。毎年冬もなかばになると「ストーブをたけ」と云う聲があちこちにわき起る。かくなると石炭不正使用をとりしまる事が必要になって來ると云う譯で、この程原子番號委員會ならぬ石炭管理委員會が發足するそうである。

○弱き者。汝の名は男性なり　蕨食時間が來ると女生徒はHRの教室を獨占するので、いとも内氣で心臓の弱い男生徒、運動場の片隅で餌食もなくムシクいているとか。（海南高校）

○男生徒にボマード贈呈。東京大田高校一年の太郎さん、H・Rでの提案に「何々さんは頭髪がいつも油不足でパサパサでみっともないからクラス會費でボマードを買ってあげましょう〃とは男女共學の笑話。

○遅刻罰金が千五百円。本校のみならず遅刻は他校でも多いらしいがその防止對策として大阪淀川工高機械三年生のあるH・Rは一回五円の罰金制を始めたが既に千五百円集り、話題になっている。

○先生とは。濱松商業高校では「人生に於けるユーモアを理解する」との目的でH・Rの時間に「トンチ教室」なるものを行ったその内の二・三の名答？をあげると、

〃定義〃　先生とは、つらい樣な顔をしていて案外授業をつぶれるの喜ぶ人種なり。學校とは試驗がなければよい所　高校生とは、道具より鞭當の方が大きいものなり。

○落し物饒舌。長岡工高では長年來の校内落し物、忘れ物が著敵しその數八十點也。早速入札制度を設けした。所が最高スボンの百五十円、野球帽五円等々、市價の六、七割以上の廉價で大好評、その盛士産としてが饒舌會場で忘れ物がドッサリ、主催者側これはどうしたものかと頭痛鉢卷

○これでも高校生？　姫路の社高校でザ行の誤用について一・二年の生徒で調査したところ、ダッヂン（雞卵）シウヂン（修繕）、ソウドクデイ（相續税）、ダンネン（殘念）等の誤りがあり、中でも「ダンネン」が調査員人中四三％もあったとは眞に殘念な！

○校内パチンコ。弘前高校では自治會費の穴埋めに税制度をとり例えば長髮税、時間外食事税、男女交際税等、しかし潛勢者多いのでこれに代る策として生徒會直營の「パチンコ屋」を開設しようとの提案があったが學校側から禁にられてオジャン。

○オヤマ警戒。福井縣敦賀高校は男女共學であり年ち演劇部に女子が一人もいない。從ってこの間上演したいあの「路上の御樣〃」という誰かゞ惚れそうなもの。

○長髮は便利。長崎縣本女丘高校で長髮理由を調査した結果、曾錄をつける。女子にもてる。長くなるものは長くしておく。のばすと精神的に充實する。理由なし等、お金が余って困るからと云うのはなかったらしい。

○生徒はたった一人。開校以來生徒が一人先生が五人という日本始って以來の珍授業をやっている學校がある。兵庫立北條高校農業科定時制北條分校という長たらしい名前の學校がそれ。

編輯室

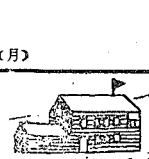
◇先ず第一に謝罪の關係で一ケ月一回發行を實行できないのをお詫びする◇責任者が遅うと云えば、同じ出版部から出す盧高と新聞が日を同じうする事になってしまったのは、時間的配分の點から大變まずかったのである。

◇何せ人手不足で、例えば二十名の出版委員が全部動いてくれたとしても充分とは云えない。

◇新聞に對する投稿、又は希望がありましたらどし〳〵お寄せ下さい。ホーム・ルームの出版委員に託して下されば幸甚です

キハックリーニング
リボサカ
國道筋芦屋驛前
電話芦屋二五一四番

理化學實驗器具
藥品類
株式會社　大洋藥局
阪神國道芦屋川東詰
電話芦屋三一〇三番



文藝

個の意識と集團の意識

——僕は何故文學し演劇するか——

中野順一

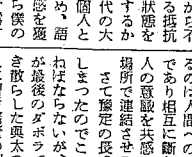
女の腕の中で私は人間になった、と小林秀雄は書いたが人間が人間になる瞬間はあらゆる文學のキイポイントなのであって、それは常に危機に立つ精神的遍歴の極點として現われて來るものである。愛はこのように人間のめざめが行われる一つの大きな場であり、すべての文學に共通する愛の主題のおびただしい描寫は明らかにそれを意味するものである。人は愛する時却って個の意識に突如めざめるものであるらしい。そして文學とはこの個の意識の極地に於いて生まれて來る。愛は常に飛躍であり、愛の論理をぼくら是は沮う事が出來ない。だから愛はただちに死であり、人は愛に於いて死を見る。ここから多くの文學に於ける愛する事の悲劇のテーマが提出される。恐らく個のめざめはこの生産物であり、資本主義との密接な關聯を持つものであるが何故ならば個の意識の點はまさに十九世紀的社會にあったからで、事實偉大な文學は既に十九世紀に於いて完成されてしまっている。と云っても何も文學が資本主義を撲滅し代辯するものであると云う事ではない。日本でも小林秀雄が批評文學を創始したと云う事が小說文學の頂點を暗示してくれる。批評が文學となったと云う事は、對象の裏面的解釋や單なる價値批判から進化して個人意識からする自我の主張となった事であり、對象と自己との共感によって自己を語ると云う方法論の發見である。以後この方法論は作家により入れられ、作家から毒取された批判を再び奪回しようとする意圖が生れ始めた。

しかし、僕等の住む現代ではもはや散文學は十九世紀の形態に過ぎない。現代文學は今、厚い壁に直面してしまった。現代文學に於いて、何に多くの「壁」の思想がある事だろう。原子力や恐るべき交通網は何ら世界を擴大したものではなく、逆に現代は封鎖され、個人の意識は相互に斷絶されてしまっているかのようである。現代の善き意志にも拘らず、現代は至る所に斷層を持つ。そこからして作家である人間は人間へのノスタルジアを逆說的に非人間的なるものに於いて設定しようと試みるのである。サルトル・カミュに於いてその共感はもはや單一なものではない。極度に分裂してしまった現代詩の持つ共感も單一ではない。僕らはこの地點で現代に匹流するものをつかもうと空しい努力をくり返すばかりである。そこで僕は一つの勝手な方法を發見する。それはドグマである。もちろん僕はドグマによって個を發見したと云う程落越ではない。却って僕の批評は文學的でさえないと云う現象を示すのである。

しかし批評が自己について即ち僕自身について語るものであるならば大きな困難が立ちはだかるのを感じる。せいぜい僕は僕の思想的遍歴をしか語れないからである。

だが批評とは結局そのようなものではなかろうか。元來批評は遍歴と歴史について語るものである。普遍と云うものが存在するかどうかと云う點では僕は無知である。だから僕は僕自身のドグマと彷徨とから歴史について語る。しかし案外現代批評文學の限界がこう云うところにあるのではないか。

僕はチエホフの「退屈な話」を讀んで退屈な話だと思った。ところが シエストフの「虚無よりの創造」によって僕は「退屈な話」が如何に恐るべきものであるかを突如知らされたのである。先ず批評がありそして作品があると云う事の奇妙な逆行性に僕はその時慄然とした事である。批評家のあるものは先ず作品があってその後に人間があると云う視點から批評する。これは作品を作家から奪取せならぬために敵で作家を第二に置こうとする個体として對峙するが、作品によって二つの個体は共感を持つのである。しかし考えねばならぬ事は個の意識の悲劇的末路に今ジンチテーゼが提出されていると云う事だ。ソヴイエトの文學は個を描かず歴史と人間の集團について語り始めている。そして又、サルトルは問故戯曲を書くか、と云う問題も提出されるであろう。フランスのレジスタンスの時期に於いてサルトルは個人と集團の問題について考えていたに違いない。演劇は成程マニュファクチュアの段階にあるかも知れない。が、それは文學と違ってもっと直接的であり行爲的である。そこには集團の興奮がある。サルトルは演劇に於いて集團と共にある個人として行爲しようと、個人の意識を、共感を媒介として行爲に轉質せしめようとするのである。三島由紀夫が戯曲を書き出したのは個の意識の重壓に堪え切れなかったのであり、日本と西歐の知性はやはり一つの相異點をもっている。現代の演劇はだから不安と絶望と孤獨に對する抵抗であった。出口のない狀態を如何に破、如何に克服するかが僕等に課せられた現代の大きな課題である。僕が個人としての意識に眞にめざめ、語る事によって他との共感を獲得しようとする願いから僕の文學的放浪が始まり、行爲する個人として集團と共感しようとするところから演劇するのである。かくて僕が文學するのは人間へのノスタルジアであり相互に斷ち切られた個人の意識を共感によって深い場所で連結させることである。さて豫定の長さを突破してしまったので今の姿で擱筆せねばならないが、恐らくこれが最後のダボラであり僕の書き散らした興味の數々はひとえに讀者諸賢の御寛恕を乞う次第である。



オペラ

「夕鶴」について

齊木眞

木下順二原作になる戯曲「夕鶴」を團伊玖磨がオペラに作曲したもので我國の傳說民話を佐渡の方言を使って書かれた一幕物である。一羽の鶴が自分の傷を欲得なしで介抱してくれた與ひようのところへそれを有難く思って「つう」と云う名で女房になりに行きそして乞はるるままに己のやせるのもいとわず愛する者のために羽根をぬいでは布をおってやっていたが、遂に夫が村の惡者にだまされて自分と一緒に住むことが出來なくなった悲しみながら一人淋しくもとの空へ歸って行くという筋の物語りである。霊景色の舞台を或る時は青くしている世界はもう決して今までの外國オペラの樣な何かとまどった感じのものじゃなく、我々の生活感情に實にぴったりと來る出發なのだ。大体西洋のオペラのみならず文學にせよ我々日本人が彼ら同樣理解出來るはずがないので例えば、ラシーヌの「フェードル」にしたところでその根本になっているギリシヤ神話は何千年の時間をかけて民族の血となり肉となったものでそれだからこそこの芝居はその慾歌場では「我知らず涙が流れ」而白い場合では「手の舞い足のふむを知らぬ」ことになるほど彼等にとっては非常に親しさがあるのだ。ところが乳房を含ませながら乳母が教えてくれた親しさのなかに我々にはそれが彼等ほどにつくり分るはずがない。生活感情のちがいなのだ。しかし「夕鶴」は佐渡の先祖の作った物語であり、それこそ桃太郎の物語同樣我々の血となり肉となったテーマなのである。

情緒的に或る時は悲しい日光又その次には鮮紅のすばらしい夕やけと照明が非常にうつくしく、そして佐渡の方言とも民謡風のメロディーがすばらしいリズム抑揚運度感を生みだしている、いろりのほとりで眠りこけている與ひようのところへ子供達が彼の女房と遊ぼうとしてやって來てうたう。「おばさんおらんのけ？つまらんのう、いっかえるんけ？よう」と與ひようどんなようなどのセリフの笑しさは外國物のオペラの論譯セリフの飛でもない抑揚を聞きされた耳には辛くすばらしかった。この「夕鶴」がかもし出している世界はもう決して今だから私達はこのオペラに云うに云われぬ親しさ、なつかしさを感ずるのだ。

傳承說話「夕鶴」は非常に女性的な說話である。そこには我々の祖先の感情の繊細さと優しさがあふれている。試みにこれとワグナーのオペラの比べてみよう。

ブルガンデイ王ダンクラウトの娘であるクリームヒルドはハーゲンの爲に夫ジークフリードを歓敵殺されてこの剛腹漢に對して骨髄に徹する恋慕を抱いていながら内心深くこ復讐の機會を覗い待っている彼女は百念の恨みを遂げる爲にのみわざ〳〵ポルトガル王にハーゲン等を饗宴に招かせる。宴の席は忍ち修羅の巷となった。王の愛子は屠られ王の愛臣は多くたおれた。ハーゲン等も館の一間にともって血まみれの惡戯を試みる。クリームヒルドは身をこがす復讐の念に駆られて髪をふりみだして血に渇いた惡魔の樣に火と焔の間を軽々廻りながら王の部下をはげましてハーゲン一行を殺した。

このクリームヒルドの殘忍な物語りに比べて何と夕鶴は優しさにあふれていることだろう。同じことがワグナーの音樂と團伊玖磨の音樂とについても云えるだろう。夕鶴の音樂にはあのワグナーの感慨する樣なケンランさや、大見得切ったケバ〳〵しさは無い。有るものは微細な民族的な音樂であり又ある意味でドビッシーの音樂の樣に詩的でさらに日本的な幻想さである。そして間違ってはならないのは彼の音樂が日本的だと云って也決して時代がかった現代人の感覚を無視したたぐいのものではないと云うことだ。だから私達は「夕鶴」に私達の國民歌劇としての親しさを感じる。全体オペラの台本は「マクベス」「カルメン」「椿姫」或は「ファスト」の樣に有名な小說や戯曲を歌い易い樣に詩化し、音樂的感情を表出し易い樣に脚色されたものが多いのだが「夕鶴」では團伊玖磨は「ある場合音樂中心にかたむくあまり舞台の作品としてはかたよった奇妙な結果に陥る危險がある。そして、「音樂的感動を以って或る感情を表出する目的の爲に演劇的な流れを停滯させて延々と一つのアリアを歌うと云う狀態はたとえそれが過去のオペラの傳說的な興味の中心であったにせよ演劇を愛する者として私には許せない相談である」として木下順二の原作をそのまゝ台本としているだから夕鶴は從來の歌劇よりもっと演劇として高度なものである。こゝでも夕鶴の現代オペラとしての性質がある。

うとするところから演劇するのである。かくて僕が文學するのは人間へのノスタルジアであり相互に斷ち切られた個人の意識を共感によって深い場所で連結させることである。さて豫定の長さを突破してしまったので今の姿で擱筆せねばならないが、恐らくこれが最後のダボラであり僕の書き散らした興味の數々はひとえに讀者諸賢の御寛恕を乞う次第である。

映畫「明日では遅すぎる」鑑賞記

先づこの映畫に對して全面的な賛意は感じられなかったという事である。賛意を表し難き根本的理由は、この映畫に幾多の考慮すべき問題が介在していたからである。その主なるものを取り上げてみると一、舊新兩思想の對立　あの映畫に於ける主事と女教師はそれぞれ舊新兩思想を代表する典型的タイプで、二つのタイプを稍類型化しすぎた感がある。この對立を一般的に見る時、そこに一方的に偏きを否定し、新しきを肯定する傾向が有ったのではないだろうか。この對立が激しい程其處に深刻な抗爭の一面が現われるのは當然の理由でもあろうが、この抗爭の間に自己を保持擁大しつゝ他の良き面をば獲取し進歩すべき機會を見出そうとする精神こそもっと重要視されてゆくべき問題だと思う

二、イタリアの現狀　この映畫がイタリアの現狀であるならば、生徒の無知が稍切に感じられたのは、生徒の自覚の如く現今のイタリアは性の氾濫の時代である。その樣な社會現象の中にあって、感受性の強い思春期の人間が果して性知識のみに甚しく乏しいであろうか、人間は成長に應じそれに平行して自然や社會の中から色々な知識を汲みとっているのではないか、この樣な先天的自然感覚を充分考慮に入れておくべきではないだろうか、この二點に於て原作者と監督モギーの眼の甘さが感ぜられた。次に映畫として感動した點をあげてみよう

一、主事に「汚れた娘」とそしられ治療室に監禁されたミレッラの事を心配するフランコの純情。

二、ラスト・シーン身投げしたミレッラがフランコに抱かられ蘇生した時それを見守っていた生徒の間に歓聲がおこりミレッラがランディ先生に抱かれ歩って行くその一行の前途に夜明の太陽が雲間より美しい光を投げかけていた。

この時一生命の蘇生に對する至純なまでの人間的美しさが感ぜられた。

三、映畫の至る所に思春期の精神的動揺が巧みにキャッチされている點、更に現在世界の東西に於て直面している問題が同一であると云う事實が私に或る種の感動を起さしめた。尚セックスを主題とする種々の問題は未だ檢討段階にあり種々の問題を包藏しているがこの時に當って雖闘を乗り切った後の清純で明朗な生活のくる事を信じたい。

透視

女生徒は重宝

前號の婦人欄に女生徒の美化に對する賛同意見が多いのは、美化部というものが全く校内の美化部のみが驚高を清潔にしているという事になりますが、これは少し誇張しすぎではないでしょうか。さて女生徒諸嬢の美化については、男生徒諸君のたくましき破壊力や、旺盛なる荒壁の製造力に比して遙かに有爲なようであります。元來校は女生徒よりも男生徒の方が多い處で、体力的にいってもその破壊力面に於ては、製造力は女生徒のそれを遙かに上廻っているのは明らかです。しかも女生徒に注目すべき事は、チリ紙をゴミ箱へ棄てるという點です。しかし總体に男子族の撤布するそれの量におされて問題ではありません。ですから男生徒の校内醜化への藏力は多大なものです。私の强調したい點は、男生徒諸君に比して美化であって、即ち女生徒諸嬢の美化については、男生徒諸君のたくましき破壊力や、旺盛なる荒壁の製造力に比して遙かに有爲なようであります。元來校は女生徒よりも男生徒の方が多い處で、体力的にいってもその破壊力面に於ては、製造力は女生徒のそれを遙かに上廻っているのは明らかです。しかも女生徒に注目すべき事は、チリ紙をゴミ箱へ棄てるという點です。しかし總体に男子族の撤布するそれの量におされて問題ではありません。ですから男生徒の校内醜化への藏力は多大なものです。私の强調したい點は、男生徒諸君に比して美化であって、即ち女生徒諸嬢の美化についてはいうまでもなく、男生徒諸君の美化部としての獨立性を自治が認められないのが他の部に比して特にはなはだしい。そのため我々までが迷惑を蒙むっている事がたびたび認められる。學校圖書の購入の選擇、圖書館の第二次的審査、慰安に於ける活動の自由、部員自身の圖書に對する認識等を見れば最も良くわかる事ではないだろうか。現狀では悪い意味に於ける圖書の機械的番人にすぎない。部員の人も幹事を中心に事務から管理までやってを民主的に行って行く意氣を持ち、實行へと移し、いつまでも先生や司書の方に頼らず一刻も早く外形から劣らない充實した圖書館を君達の手により打立てられん事をのぞむ。我々利用者の方も部員がより活動出來る樣に援助と助言を與える事が最も大切だ。

図書部員にのぞむ

（二F・U）

圖書館に入ったり圖書部員に接するたびに痛切に感ずる事なことだと思います。女生徒というものは團合に役立っていると云う事を再認識していたゞきたいのです。そこで女生徒諸君よ、驚高美化の爲一層頑張って下さい。

有限會社
柏井紙文具店
芦屋市松ノ内町九九
國鐵芦屋北驛前通り
電話芦屋五一三四番

皆様の御支援による
芦屋會館
7日より『二世部隊』輝く威勇の感動を……もう一度ぜひ！
12日より溪谷の銃聲・20日より箱根風雲錄
14日より絶海のターザン・29日より猿人ジョー！

カメラと材料
阪急國道驚屋川西山側
ハナヤ勘兵衛
電話驚屋3902番